

電車の優先席について

木嶋 保子(肢体障害)



優先席の対象は、「ほかにも座席を必要とする者が多い」との考えから、高齢者・障害者・妊婦・乳幼児・怪我人・医療機器使用者などと幅が広がってきている。

「優先席付近では携帯電話の電源をお切りください」「マナーモードに設定して通話はお控えください」とアナウンスしている。

それにもかかわらず、携帯電話を使っていて人が多いこと、多いこと。

私は外出するときにはほとんど杖をつく。電車内ではひと目で障害者とわかるだろう。でも夕方5時過ぎに電車に乗るときは、お勤め帰りの方に申し訳なくて、わざと優先席から遠いところに立ってしまうのは、少しは遠慮の気持ちがあるのかもしれない。

以前電車に乗り込んだとたん、外国の方が離れた座席から立ち上がって自分を案内して

くれた。それは優先席ではなかったけれど、その親切がうれしく身に沁みだした。

車内アナウンスだけではまったく効果がない優先席。携帯電話どころの話ではない。どう考えても頑強な(屈強な)男性が大腿を広げて座っている(眠っている)風景はおかしい。

電車内では、ほとんどと言っている。いいほどの方が携帯電話をいじっている。

ペースメーカーは精密機器なので、強い電流や電磁波にさらされると機能が狂う恐れがあるという。携帯電話からの電磁波で誤作動が起きる心配は小さいそうだが、できるだけ22センチ以上離し、通話は植え込み側と反対側で行うよう心がけなければならぬ。内部疾患の方は、私のように杖をついているわけではないから、見かけだけではわからない。

次の文章が目にとまったのでご紹介いたします。

☆身体障害者の4人に1人は、外見からは障害が分からない「内部障害者」だそうです、見た目は健康者と変わらないため、周囲の理解が得られず、苦しい思いをすることがよくあるようです。

社会の多くの方々にとって、このような「見えない障害」について知る機会はあまりなく、「知らない」ということが障害への理解が進まない原因の一つであるように思われます。障害理解への第一歩は、まず「知ってもらおう」こと、そして勇気が必要ですが障害者自身、「知らせる」ことが不可欠です。

障害が見えないからこそ、マークが必要、という声が高まり、内部障害者や内臓疾患を持つ人たちで2004年に「ハート・プラスの会」が作られた。☆ さっそく該当される会員にお配りしました。

【マークの意味】
身体内部を意味する「ハートマーク」に、思いやりの心を「+プラス」したもの

私は身体内部に障害を持っています。

http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/
Copyright (C) 2007 heart plus mark project. All rights reserved.

ホームページ

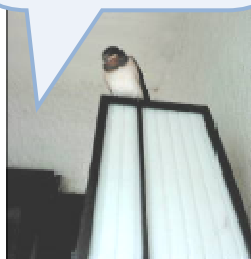
<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

☆ これからの予定
9月16日(日)
笠松運動公園

☆ お日さまサンサン
生き生きまつり
10月13日(土) 場所未定
☆ 山の集い
10月4日(木)・5日(金)

☆ 下妻市砂沼広域公園
つくばグランドホテル泊
文化祭 展示・発表
11月3日(土)・4日(日)
カレンダー作成
クリッピング展示
ら・そよかぜ演奏他

ツバメの家族が竹原さん宅の玄関に巣を作りました。2回ヒナを育て、巣立ちを見守ることが出来たそうです。



編集後記：最近の天候は本当に不安定です。梅雨？ あれ？ いつの間にあけた？ それでも本格的な暑さは当然やってきます。節電対策はいかがですか？ ゆうあいは70号という大きな区切りを迎えました。3ページに8年前の写真を掲載しましたが、皆さん若かった！ 今でも気は若いつもりですが・・・ 木嶋

ホテル レイクサイドつくば

〒300-1273
茨城県つくば市下岩崎 708 番の1
☎029-876-5050

岡野製茶

〒300-1262
茨城県つくば市九万坪 5 2 - 1 3
TEL029-876-0345
FAX029-876-0346

賞植木 室内園芸 専門

室内園芸装飾技能士の店

つくばフローラ

TEL(029)873-0328
FAX(029)874-8693
農場 871-0292
つくば市高崎 1763